



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 トレーディア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9365 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 古郡 勝英

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長代理 (氏名) 茨木 信弘

TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,502	4.9	75		43		30	
2020年3月期第1四半期	3,681	7.3	0	94.0	34	29.3	24	62.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 10百万円 (71.1%) 2020年3月期第1四半期 36百万円 (34.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	20.59	
2020年3月期第1四半期	16.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,134	2,519	27.6
2020年3月期	8,465	2,573	30.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,519百万円 2020年3月期 2,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				30.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	0.1	20	79.4	95	5.5	55	7.8	37.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	1,470,000 株	2020年3月期	1,470,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	4,864 株	2020年3月期	4,864 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	1,465,136 株	2020年3月期1Q	1,465,136 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、内需・外需ともに大きな落ち込みとなり、先行き不透明な状態となりました。とりわけ、貿易に関しましては、世界各地の生産活動が停止し、サプライチェーンが寸断されることによる輸出の減少、外出自粛要請・緊急事態宣言による国内消費の低迷による輸入の減少があり、厳しい状況で推移しました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応するとともに、積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期間比5.0%減少し、売上高は35億2百万円余(対前年同期間1億79百万円余減)となりました。損益面につきましては、収入の落ち込みを費用削減で挽回できず、営業総利益は前年同期間比41.2%減の1億18百万円余(対前年同期間83百万円余減)となりました。営業損益は、一般管理費減少の効果もなく、75百万円余の損失(対前年同期間75百万円余減)、経常損益は43百万円余の損失(対前年同期間77百万円余減)となりました。このため、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円余(対前年同期間54百万円余減)を計上する結果となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。報告セグメント区分変更の詳細につきましては、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

①輸出部門

輸出部門におきましては、主力の機械機器製品をはじめ、食料品、雑貨類の取り扱いが減少した結果、輸出部門の売上高は前年同期間比26.1%減少し5億72百万円余、セグメント損失65百万円余(前年同期間はセグメント利益3百万余)の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品が増加しましたが、雑貨が減少した結果、輸入部門の売上高は前年同期間比0.5%減少し13億26百万円余となりました。固定費が減少したことによりセグメント損失は17百万円余(前年同期間はセグメント損失20百万円余)の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、輸出は台湾、インド向けの資材、設備の取扱いが大幅に減少し、また中国向けの自動車部材も低調でした。一方、輸入においては中国からの衛生資材等の取り扱い及び、航空便の減少で海上混載貨物が増加、また、東南アジアから緊急需要品のスポット案件で売上高を伸ばしました。その結果、売上高は前年同期間比2.8%増加し15億66百万円余となりましたが、外注費比率も上昇したため、セグメント損失4百万円余(前年同期間はセグメント利益1百万円余)の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、安定した賃料収入により、売上高は前年同様の14百万円余となりました。当第1四半期において倉庫修繕費等を計上したため、セグメント利益は12百万円余(前年同期間はセグメント利益13百万円余)の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の売上高合計は前年同期間比38.1%減少し22百万円余となり、セグメント利益は1百万円余(前年同期間はセグメント利益2百万円余)の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入0百万円余を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億68百万円余増加し、91億34百万円余となりました。流動資産は6億97百万円余増の34億61百万円余、固定資産は28百万円余減の56億72百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、売掛金の減少がありますが、現金及び預金の増加等によるものであります。固定資産減少の主な要因は、減価償却費計上による有形固定資産の減少等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億21百万円余増加し、40億58百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、98百万円余減少し25億56百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少、退職給付に係る負債の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、54百万円余減少し、25億19百万円余となりました。これは、利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月13日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,339	1,160,674
受取手形及び売掛金	1,420,031	1,364,747
立替金	673,257	767,769
その他	121,528	168,433
貸倒引当金	△220	△398
流動資産合計	2,763,937	3,461,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,259,757	1,236,133
機械装置及び運搬具（純額）	40,370	36,091
工具、器具及び備品（純額）	6,142	5,955
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	159,954	147,125
有形固定資産合計	3,247,880	3,206,962
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	31,682	30,248
無形固定資産合計	66,243	64,808
投資その他の資産		
投資有価証券	955,094	972,731
差入保証金	793,117	792,965
繰延税金資産	47,468	53,412
その他	600,807	584,796
貸倒引当金	△8,992	△2,815
投資その他の資産合計	2,387,495	2,401,090
固定資産合計	5,701,619	5,672,860
資産合計	8,465,557	9,134,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,062,123	1,036,935
短期借入金	1,632,809	2,366,139
リース債務	60,831	59,406
未払法人税等	13,721	8,830
賞与引当金	201,864	313,544
その他	265,389	273,684
流動負債合計	3,236,740	4,058,540
固定負債		
長期借入金	2,326,628	2,285,093
リース債務	136,223	121,696
役員退職慰労引当金	55,542	49,118
退職給付に係る負債	123,748	87,444
長期預り保証金	13,110	13,110
固定負債合計	2,655,252	2,556,463
負債合計	5,891,992	6,615,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,681,003	1,606,834
自己株式	△10,249	△10,249
株主資本合計	2,576,181	2,502,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,953	48,210
為替換算調整勘定	△1,970	△4,227
退職給付に係る調整累計額	△41,599	△26,911
その他の包括利益累計額合計	△2,617	17,070
純資産合計	2,573,564	2,519,083
負債純資産合計	8,465,557	9,134,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業収入	3,681,683	3,502,315
営業費用	3,479,879	3,383,684
営業総利益	201,804	118,631
一般管理費	201,162	193,718
営業利益又は営業損失(△)	642	△75,086
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,512	15,905
持分法による投資利益	9,719	3,618
その他	15,831	27,129
営業外収益合計	49,062	46,654
営業外費用		
支払利息	15,374	15,138
その他	262	64
営業外費用合計	15,636	15,203
経常利益又は経常損失(△)	34,068	△43,635
特別利益		
固定資産処分益	-	349
特別利益合計	-	349
特別損失		
固定資産除売却損	578	0
特別損失合計	578	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	33,490	△43,285
法人税等	9,244	△13,106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,245	△30,178
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	24,245	△30,178

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,245	△30,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,011	7,256
退職給付に係る調整額	△2,564	14,687
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△2,256
その他の包括利益合計	△60,575	19,687
四半期包括利益	△36,329	△10,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,329	△10,491
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
売上高								
外部顧客への売上高	774,236	1,332,545	1,524,052	14,880	35,970	3,681,683	—	3,681,683
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	600	600	△600	—
計	774,236	1,332,545	1,524,052	14,880	36,570	3,682,283	△600	3,681,683
セグメント利益又は損 失(△)	3,504	△20,232	1,294	13,387	2,688	642	—	642

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△600千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
売上高								
外部顧客への売上高	572,178	1,326,428	1,566,779	14,880	22,050	3,502,315	—	3,502,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	600	600	△600	—
計	572,178	1,326,428	1,566,779	14,880	22,650	3,502,915	△600	3,502,315
セグメント利益又は損 失(△)	△65,593	△17,771	△4,954	12,032	1,200	△75,086	—	△75,086

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△600千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループにおける経営管理体制を再検討した結果、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。従来「その他」に区分しておりました倉庫業は、金額的に重要性が増したため、新たに「倉庫」として報告セグメントに加えられました。また、従来「その他」に含まれておりました港湾関連は、事業内容を勘案し、当第1四半期連結会計期間より「輸出」に分類することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。